

説教 あなたがたに平和があるように

ヨハネによる福音書 第20章19～23節

その日、すなわち週の初めの日の夕方、弟子たちはユダヤ人を恐れて、自分たちのいる家の戸に鍵をかけていた。そこへ、イエスが来て真ん中に立ち、「あなたがたに平和があるように」と言われた。そう言って、手とわき腹とお見せになった。弟子たちは、主を見て喜んだ。イエスは重ねて言われた。「あなたがたに平和があるように。父がわたしをお遣わしになったように、わたしもあなたがたを遣わす。」そう言ってから、彼らに息を吹きかけて言われた。「聖霊を受けなさい。だれの罪でも、あなたがたが赦せば、その罪は赦される。だれの罪でも、あなたがた

が赦さなければ、赦されないまま残る。」
(ヨハネ20:19-23)

あなたがたに平和があるように

ペンテコステの出来事に先立つこと50日。弟子たちに不思議な体験が与えられました。主イエスの十字架の三日後の夕方でした。弟子たちは復活の主と再会したのです。「あなたがたに平和があるように。」これは、扉に鍵をかけ、閉じこもっていた弟子たちにつけられた主イエスの言葉です。わたしが「わたしは主を見ました」と弟子たちに語っていたにもかかわらず

ず、弟子たちは、不安と混乱の内に取り残されていました。大好きであった主イエスを、最も忌むべき十字架刑によって失う事だけでも十分な痛みであったでしょう。しかし、人々の目を恐れ、自分たちに主と同じような災いが及ばないように家の扉に鍵をかけて閉じこもってなければならぬ彼らの心の奥底にはどのような思いがあったのでしょうか。そのときでした。彼らは主イエスに声をかけられたのです。「あなたがたに平和があるように。」そして「息」を吹きかけられたのです。元々の言葉、シャロームという言葉には、主なる神の創造の御業の中に生か

される人間の本性が表されています。主イエスは、主なる神の祝福と共に、豊かに生きる力が人々に与えられている喜びを、弟子たちに告げたのです。命の息吹の取戻しです。このときから少しずつ、弟子たちは主なる神の平和の中へと取り戻されていきます。

五旬祭の日の不思議

そしてペンテコステの日。使徒言行録の2章は語ります。「五旬祭の日が来て、一同が一つになって集まっていると、突然、激しい風が吹いて来るような音が天から聞こえ、彼らが坐っていた家中に響いた。そして、炎のような舌が分かれ分かれに現れ、一人一人の上にとどまった。すると、一同は聖霊に満たされ、「霊」が語らせるまに、ほかの国々の言葉で話した。」(2:4-4) エルサレムにはそのときあらゆるところから帰って来っていたユダヤの人たちが集められていました。人々と言います。「彼らがわたしたちの言葉で神の偉大な業を語っているのを聞くとは。」(2:11) そしてペテロが立ち上がり語ります。神が、十字架にかけられたイエスを復活の主とされたことを、それがすべての人に与えられた神のみ心であったことを。人々は心を打たれました。その声に神の真実の響

き聞いた人々は悔い改めを促す呼びかけに応じて洗礼を受け、弟子たちに加わりました。

「一つにされた」群れの誕生

その群れに、新たな生き方が生まれました。「信者たちは皆一つになって、すべての物を共有にし、財産や持ち物を売り、おのおのの必要に応じて、皆がそれを分け合った。そして、毎日ひたすら心一つにして神殿に参り、家ごとに集まってパンを裂き、喜びと真心をもって一緒に食事をし、神を賛美していたので、民衆全体から好意を寄せられた。こうして、主は救われる人々を日々仲間に加え一つにされたのである。」(2:44-47) 教会の始まりとして告げられている出来事です。この人々には、不思議な魅力を感じます。親しみと温かさと言ったほうがいいのかもしれませんが、ペンテコステの出来事の初めから繰り返される「一つ」という言葉。この言葉に、私たちの本来の在り方が指示されています。

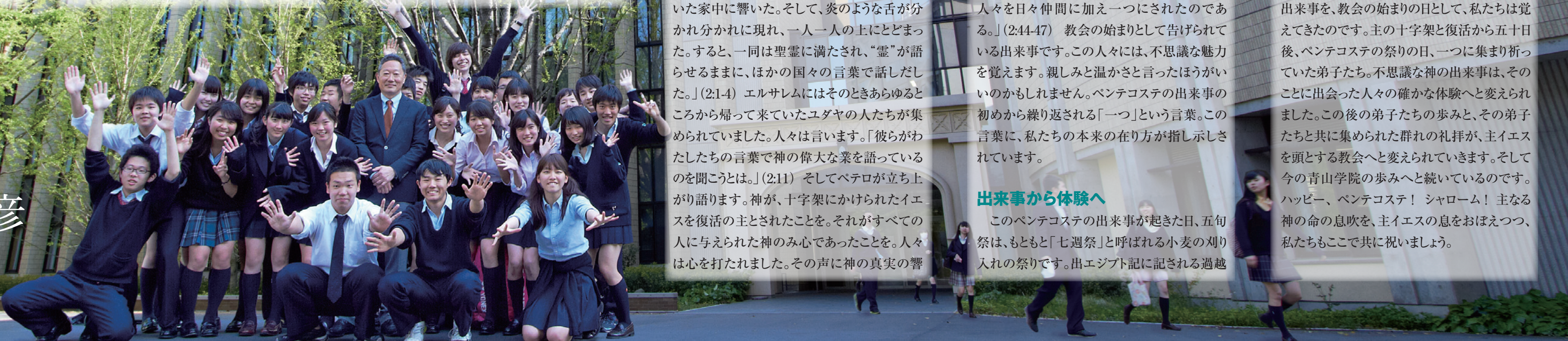
出来事から体験へ

このペンテコステの出来事が起きた日、五旬祭は、もともと「七週祭」と呼ばれる小麦の刈り入れの祭りです。出エジプト記に記される過越

(出エジプト)から50日目にシナイ山において与えられた、神と神の民との契約を記念する日でもあります。畑からの産物の収穫を神殿に持ち寄り、祝う祭りは、人が生き続けて行く事を祝う喜びであり、神の恵みと守りを自分の体験として受け止めるという事でした。さらにその祭りは、十戒を主なる神からいただくことを通して、救い主なる神のまなざしの中で、神の民として生きる生き方が与えられた記念でもありました。創造の始め、主なる神の息吹により命が与えられた私たちが、人が生きるという事の本質を祝う祭りの日と言えるでしょう。その祝いの日に起きた神の出来事を、教会の始まりの日として、私たちは覚えてきたのです。主の十字架と復活から50日後、ペンテコステの祭りの日、一つに集まり祈っていた弟子たち。不思議な神の出来事は、そのことに出会った人々の確かな体験へと変えられました。この後の弟子たちの歩みと、その弟子たちと共に集められた群れの礼拝が、主イエスを頭とする教会へと変えられていきます。そして今の青山学院の歩みへと続いているのです。ハッピー、ペンテコステ！ シャローム！ 主なる神の命の息吹を、主イエスの息をおぼえつつ、私たちもここで共に祝いましょ。

相良 昌彦

高等部宗教主任



特集 ようこそ、青山学院へ

出会いと発見の喜びに満ちて始まった、学院生活。
各部の方に、新しい仲間に向けた言葉をいただきました。

Special Issue : Welcome to Aoyama Gakuin

自然の恵みの中で



ご入学おめでとうございます。皆さまを迎えることを心待ちにしていました。一人ひとりの子どもたちにとって、幼稚園という場所が安心できる場所となるよう、祈りをもって支えて参ります。

幼稚園には四季を感じさせる自然豊かな園庭があります。春には桜の花びらが舞う中で、年中・年長組の子どもたちは一つ大きい学年に進級した誇りさや喜びを抱きながら過ごします。また幼稚園に永く住みついているカエルたちが池の中に産んだ卵が毎年孵り、たくさんのおたまジャンクンに触れることができます。今の時代、なかなか出会うことができない生き物と直に触れ、いのちを感じる体験を子どもたちは重ねていきます。

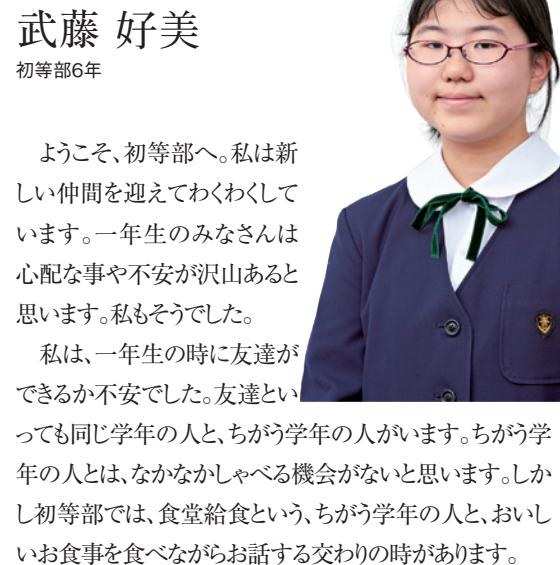


夏に向かってく、水や砂、泥に思い切り親しみます。この時期ならではの遊びを取り組んだり、水や泥の感触を全身で楽しみ、心身共に開放して過ごす子どもたちを見て、いつも嬉しく感じています。

秋は過ごしやすい気候の中で、体を存分に動かして遊ぶ充実感を味わう姿が多く見られます。また大きなイチョウの木から落ちる銀杏をお箸で拾ったり、たくさんのおもちゃを見て「葉っぱでベッドを作ろう！と友だちと落ち葉を両手いっぱい集めてベッドを作ったりと、秋の自然の豊かさや、季節の移り変わりを全身で感じます。

冬は冷たい風が吹く中でも、鬼ごっこをしたり、サッカーをしたり、砂場遊びをしたりと元気がいっぱい。雪が積もった時は雪合戦をしたり、そりすべりも楽しめます。やがて春が訪れる頃、硬い蕾から梅の花がほころんだり、球根の芽が出て育つ過程を見て、寒さの中でもいのちが守られてることを子どもたちが知りま

家族と共に歩む生活



幼稚園では1年を通して神様が与えて、守ってくださっている自然やいのちの恵みを大切に感じることが出来ます。子どもたちが神様に守られている、そして愛されている安心感が満たされながら、また感謝の気持ちを伝えながらのびやかなる成長を、今年度も大切にしたいと思っています。

ご入学おめでとうございます。皆さまをお迎えすることを心待ちにしていました。一人ひとりの子どもたちにとって、幼稚園という場所が安心できる場所となるよう、祈りをもって支えて参ります。

幼稚園には四季を感じさせる自然豊かな園庭があります。春には桜の花びらが舞う中で、年中・年長組の子どもたちは一つ大きい学年に進級した誇りさや喜びを抱きながら過ごします。また幼稚園に永く住みついているカエルたちが池の中に産んだ卵が毎年孵り、たくさんのおたまジャンクンに触れることができます。今の時代、なかなか出会うことができない生き物と直に触れ、いのちを感じる体験を子どもたちは重ねていきます。

ご入学おめでとうございます。皆さまをお迎えすることを心待ちにしていました。一人ひとりの子どもたちにとって、幼稚園という場所が安心できる場所となるよう、祈りをもって支えて参ります。

幼稚園には四季を感じさせる自然豊かな園庭があります。春には桜の花びらが舞う中で、年中・年長組の子どもたちは一つ大きい学年に進級した誇りさや喜びを抱きながら過ごします。また幼稚園に永く住みついているカエルたちが池の中に産んだ卵が毎年孵り、たくさんのおたまジャンクンに触れることができます。今の時代、なかなか出会うことができない生き物と直に触れ、いのちを感じる体験を子どもたちは重ねていきます。

ご入学おめでとうございます。皆さまをお迎えすることを心待ちにしていました。一人ひとりの子どもたちにとって、幼稚園という場所が安心できる場所となるよう、祈りをもって支えて参ります。

幼稚園には四季を感じさせる自然豊かな園庭があります。春には桜の花びらが舞う中で、年中・年長組の子どもたちは一つ大きい学年に進級した誇りさや喜びを抱きながら過ごします。また幼稚園に永く住みついているカエルたちが池の中に産んだ卵が毎年孵り、たくさんのおたまジャンクンに触れることができます。今の時代、なかなか出会うことができない生き物と直に触れ、いのちを感じる体験を子どもたちは重ねていきます。



ご入学おめでとうございます。皆さまをお迎えすることを心待ちにしていました。一人ひとりの子どもたちにとって、幼稚園という場所が安心できる場所となるよう、祈りをもって支えて参ります。

幼稚園には四季を感じさせる自然豊かな園庭があります。春には桜の花びらが舞う中で、年中・年長組の子どもたちは一つ大きい学年に進級した誇りさや喜びを抱きながら過ごします。また幼稚園に永く住みついているカエルたちが池の中に産んだ卵が毎年孵り、たくさんのおたまジャンクンに触れることができます。今の時代、なかなか出会うことができない生き物と直に触れ、いのちを感じる体験を子どもたちは重ねていきます。



ご入学おめでとうございます。皆さまをお迎えすることを心待ちにしていました。一人ひとりの子どもたちにとって、幼稚園という場所が安心できる場所となるよう、祈りをもって支えて参ります。

幼稚園には四季を感じさせる自然豊かな園庭があります。春には桜の花びらが舞う中で、年中・年長組の子どもたちは一つ大きい学年に進級した誇りさや喜びを抱きながら過ごします。また幼稚園に永く住みついているカエルたちが池の中に産んだ卵が毎年孵り、たくさんのおたまジャンクンに触れることができます。今の時代、なかなか出会うことができない生き物と直に触れ、いのちを感じる体験を子どもたちは重ねていきます。

全ての「出会い」に興味がある

ご入学おめでとうございます。皆さまをお迎えすることを心待ちにしていました。一人ひとりの子どもたちにとって、幼稚園という場所が安心できる場所となるよう、祈りをもって支えて参ります。

幼稚園には四季を感じさせる自然豊かな園庭があります。春には桜の花びらが舞う中で、年中・年長組の子どもたちは一つ大きい学年に進級した誇りさや喜びを抱きながら過ごします。また幼稚園に永く住みついているカエルたちが池の中に産んだ卵が毎年孵り、たくさんのおたまジャンクンに触れることができます。今の時代、なかなか出会うことができない生き物と直に触れ、いのちを感じる体験を子どもたちは重ねていきます。

ご入学おめでとうございます。皆さまをお迎えすることを心待ちにしていました。一人ひとりの子どもたちにとって、幼稚園という場所が安心できる場所となるよう、祈りをもって支えて参ります。

幼稚園には四季を感じさせる自然豊かな園庭があります。春には桜の花びらが舞う中で、年中・年長組の子どもたちは一つ大きい学年に進級した誇りさや喜びを抱きながら過ごします。また幼稚園に永く住みついているカエルたちが池の中に産んだ卵が毎年孵り、たくさんのおたまジャンクンに触れることができます。今の時代、なかなか出会うことができない生き物と直に触れ、いのちを感じる体験を子どもたちは重ねていきます。



ご入学おめでとうございます。皆さまをお迎えすることを心待ちにしていました。一人ひとりの子どもたちにとって、幼稚園という場所が安心できる場所となるよう、祈りをもって支えて参ります。

幼稚園には四季を感じさせる自然豊かな園庭があります。春には桜の花びらが舞う中で、年中・年長組の子どもたちは一つ大きい学年に進級した誇りさや喜びを抱きながら過ごします。また幼稚園に永く住みついているカエルたちが池の中に産んだ卵が毎年孵り、たくさんのおたまジャンクンに触れることができます。今の時代、なかなか出会うことができない生き物と直に触れ、いのちを感じる体験を子どもたちは重ねていきます。

限られた時間の中で

ご入学おめでとうございます。皆さまをお迎えすることを心待ちにしていました。一人ひとりの子どもたちにとって、幼稚園という場所が安心できる場所となるよう、祈りをもって支えて参ります。

幼稚園には四季を感じさせる自然豊かな園庭があります。春には桜の花びらが舞う中で、年中・年長組の子どもたちは一つ大きい学年に進級した誇りさや喜びを抱きながら過ごします。また幼稚園に永く住みついているカエルたちが池の中に産んだ卵が毎年孵り、たくさんのおたまジャンクンに触れることができます。今の時代、なかなか出会うことができない生き物と直に触れ、いのちを感じる体験を子どもたちは重ねていきます。

ご入学おめでとうございます。皆さまをお迎えすることを心待ちにしていました。一人ひとりの子どもたちにとって、幼稚園という場所が安心できる場所となるよう、祈りをもって支えて参ります。

幼稚園には四季を感じさせる自然豊かな園庭があります。春には桜の花びらが舞う中で、年中・年長組の子どもたちは一つ大きい学年に進級した誇りさや喜びを抱きながら過ごします。また幼稚園に永く住みついているカエルたちが池の中に産んだ卵が毎年孵り、たくさんのおたまジャンクンに触れることができます。今の時代、なかなか出会うことができない生き物と直に触れ、いのちを感じる体験を子どもたちは重ねていきます。



ご入学おめでとうございます。皆さまをお迎えすることを心待ちにしていました。一人ひとりの子どもたちにとって、幼稚園という場所が安心できる場所となるよう、祈りをもって支えて参ります。

幼稚園には四季を感じさせる自然豊かな園庭があります。春には桜の花びらが舞う中で、年中・年長組の子どもたちは一つ大きい学年に進級した誇りさや喜びを抱きながら過ごします。また幼稚園に永く住みついているカエルたちが池の中に産んだ卵が毎年孵り、たくさんのおたまジャンクンに触れることができます。今の時代、なかなか出会うことができない生き物と直に触れ、いのちを感じる体験を子どもたちは重ねていきます。

御言葉を行う

ご入学おめでとうございます。皆さまをお迎えすることを心待ちにしていました。一人ひとりの子どもたちにとって、幼稚園という場所が安心できる場所となるよう、祈りをもって支えて参ります。

幼稚園には四季を感じさせる自然豊かな園庭があります。春には桜の花びらが舞う中で、年中・年長組の子どもたちは一つ大きい学年に進級した誇りさや喜びを抱きながら過ごします。また幼稚園に永く住みついているカエルたちが池の中に産んだ卵が毎年孵り、たくさんのおたまジャンクンに触れることができます。今の時代、なかなか出会うことができない生き物と直に触れ、いのちを感じる体験を子どもたちは重ねていきます。

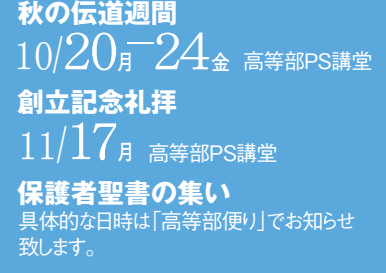
ご入学おめでとうございます。皆さまをお迎えすることを心待ちにしていました。一人ひとりの子どもたちにとって、幼稚園という場所が安心できる場所となるよう、祈りをもって支えて参ります。

幼稚園には四季を感じさせる自然豊かな園庭があります。春には桜の花びらが舞う中で、年中・年長組の子どもたちは一つ大きい学年に進級した誇りさや喜びを抱きながら過ごします。また幼稚園に永く住みついているカエルたちが池の中に産んだ卵が毎年孵り、たくさんのおたまジャンクンに触れることができます。今の時代、なかなか出会うことができない生き物と直に触れ、いのちを感じる体験を子どもたちは重ねていきます。

宗教センターだより

高等部より

伝道週間 6/16(土)～20(金) 高等部PS講堂
グリーンキャンプ 7/23(土)～25(金) 高等部追分寮
秋の伝道週間 10/20(月)～24(金) 高等部PS講堂
創立記念礼拝 11/17(月) 高等部PS講堂
保護者聖書の集い 具体的な日時は「高等部便り」でお知らせ致します。



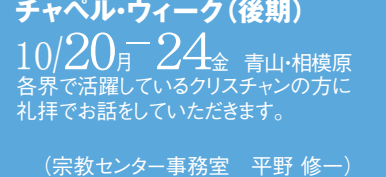
(宗教主任 相良 昌彦)

女子短大より

ペンテコステ礼拝 6/9(月) 12:35～13:05 女子短期大学礼拝堂
第7回 東日本大震災被災地支援ボランティア 8/1(金)～7(木)
オートマ・リトリート 9/27(土)～28(日) 奥多摩 パイプシャレー
神学校日礼拝 10/6(月) 12:35～13:05 女子短期大学礼拝堂
創立記念礼拝 11/14(金) 12:35～13:05 女子短期大学礼拝堂

大学より

ペンテコステ礼拝 6/9(月) 青山・相模原 6/10(火) タ礼拝
清里サマー・カレッジ 8/4(月)～6(水)
チャペル・ウィーク(後期) 10/20(月)～24(金) 青山・相模原
世界各地で活躍しているクリスチャンの方に礼拝でお話をさせていただきます。



(宗教センター事務局 平野 修一)

本部より

オール青山ハンドベルコンサート 9/23(火) 13:30～15:30 相模原 高等部PS講堂

学院創立140周年記念礼拝 11/15(土) ガウチャー記念礼拝堂
Art クリスマス Aoyama 11/26(水)～12/17(水) 短大 キヤラリー他
クリスマス・ツリー点火祭 11/28(金) 青山 相模原 全学院の礼拝として行います。どうぞご出席ください。

(宗教センター事務局 平野 修一)